まちのわだい

プロの写真技術を学ぶ
～カメラ女子フォトスクールIN大山ヒルズ～

女性のカメラ愛好者いわゆる"カメラ女子"を対象にしたカメラ教室「カメラ女子フォトスクールIN大山ヒルズ」が6月23日、伯耆町真野の競走馬育成トレーニングセンター「大山ヒルズ」で開かれました。このイベントは、写真家・故植田正治への理解を深めてもらうとともに、カメラに親しみ、撮影の楽しさを感じてもらおうと植田正治写真美術館が開催しているカメラ教室のひとつです。今回は大山ヒルズが募集に協力されたこともあり、鳥取、島根両県から20名が集まりました。

講師は、大阪を拠点に活動するプロカメラマン、椎崎義之さんで、動く被写体を撮るカメラの設定の仕方などを教わりました。

参加者は、普段撮影する機会がない競走馬を前に、夢中になってシャッターを切っていました。

競走馬を撮影するカメラ女子たち

GI優勝馬に感動
～大山ヒルズ見学会～

伯耆町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で6月30日、施設見学会が開催されました。

大山ヒルズは、平成15年3月にオープンしたノースヒルズグループの競走馬トレーニング施設です。JRAでの出走を目的に、2歳馬の育成調教及び休養馬の調教を行っています。

この日は、施設や調教の様子などが紹介され、馬見せでは、昨年最優秀ダート馬に輝いたトランセンドなど、3頭の紹介がありました。参加者たちは、普段見ることができない競走馬を前に、「すごい」「かわいい」と感動していました。

競走馬を見学する参加者

日ごろの訓練の成果を発揮
～消防ポンプ操法大会～

第54回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が、7月1日米子市流通町の鳥取県消防学校で開催されました。

この大会は、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的に毎年実施されています。

伯耆町からは、ポンプ車の部に第7分団、小型ポンプの部に第6分団が出場し、熱演が繰り広げられました。結果は、第7分団が7位、第6分団は1位でした。みごと1位に輝いた第6分団は、7月15日に同会場で開催された、鳥取県大会に駒を進めました。結果は惜しくも2位で、全国大会には進めませんでしたが、伯耆町消防団の技術力の高さが示されました。

第6分団の精錬された演技

地域づくりの先進地に学ぶ
～区長協議会先進地視察研修～

各集落の区長で構成される、伯耆町区長協議会のメンバーが7月2日、島根県飯南町で先進地視察研修を行いました。

この日参加したのは、事務局職員を含めた34人で、島根県飯南町にある谷自治振興会での取り組みを学びました。谷自治振興会は、廃校となった小学校の校舎を拠点として、ワゴン車による送迎サービスや雪かき戦隊スノーレンジャーと呼ばれるチームによる除雪作業、育児サロンなど、若者からお年寄りまでが利用できる活動に取り組んでいます。また、地域おこし協力隊というメンバーの助けも借り、多角的な地域づくりに挑戦しています。

参加者たちは、自治振興会長の話を熱心に聞きながら、地域づくりの実践について学んでいました。

谷自治振興会の取り組みを聞く参加者

地域活動が若さの秘訣
～公民館高齢者教室合同発表会～

町内4つの公民館で活動する高齢者の合同発表会が、7月11日鬼の館で開催されました。

高齢者教室は、地域のお年寄りの活動の場として、それぞれの公民館で取り組まれており、毎年1回合同で発表会が行われます。午前の部では、「公民館活動を通して」というテーマで、メンバーの意見発表が行われました。地域の活性化に取り組んだこと、趣味をとおした健康づくりや生きがいづくりについてなど、それぞれが自分の思いを発表し、会場からは大きな拍手が送られました。

午後から行われた演芸発表は、傘踊りや合唱、銭太鼓など、楽しい演目が次々と披露され、参加者は、日ごろ積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮していました。

琴修会岸本支部による大正琴

ボランティアに支えられて
～第32回全日本トライアスロン皆生大会～

7月15日、毎年恒例の鉄人レースが今年も開催され、自転車コースとなっている伯耆町では、66人のボランティアが選手の健闘を支えました。

ボランティアは、大山平原ゴルフクラブ前から丸山集落下の半川別れ交差点まで計12か所のコースポイントと、植田正治写真美術館前に設置されたエイドステーションに分かれ、選手の誘導や飲食物の提供などを行いました。

この日は米子市で最高気温36．0度を記録する猛暑の中、エイドステーションでは、ボトルに冷たい飲み物を移したり、果物を切り分けたり、体に水をかけたりして、選手たちの熱走を支えました。

選手をもてなすボランティア